

大学生等の学びの継続支援事業申請書

沼津工業高等専門学校
岡田 哲男 様

私は、「大学生等の学びの継続支援事業」の対象者であることを申請します。
なお、申請内容に相違ないことを誓約し、申請内容に虚偽があった場合は返還することに同意します。

1. 基本情報		提出年月日	令和4年 月 日
学科／コース名等	本科 ・ 専攻科 ()		
学年		学籍番号	
氏名			
現住所	〒 (自宅 ・ 下宿 ・ 寮)		

2. 振込先

届け出済みのスルガ銀行の本人名義口座

3. 対象者の要件

- 次項①～⑦のいずれかに該当することが、対象者の要件です。該当する要件の該当欄に○を付けてください。証明書類が必要な場合は、申請書に添付するとともに、チェック欄に✓を付けてください。
- 申請区分④による申請する場合は、仕送り額を記入してください。
- 次の要件に該当する者は、「4. 申し立て事項」に状況等を記載してください。

- ④アに該当する自宅で生活する者
- ④ウ(7)、④ウ(1)、④ウ(9)に該当するが証明書類がない
- ⑥の申請による経済的困窮状況

該当	要件	証明書類	チェック
	① 高等教育の修学支援新制度の給付型奨学金受給者のうち、第Ⅰ区分に該当する者		
	② 高等教育の修学支援新制度の給付型奨学金受給者のうち、第Ⅱ区分または第Ⅲ区分に該当する者		
	③ 以下のア～ウの <u>いずれかに該当</u> している。(該当する()内に○を付けてください。) () ア 第一種奨学金又は第二種奨学金の利用者 () イ 高等教育の修学支援新制度の授業料等減免のみを利用している者 () ウ 高等教育の修学支援新制度の給付型奨学金の利用者であって入金停止中の者		
	④ 以下のア～ウの <u>いずれも満た</u> している。 ア 自宅外で生活をしている。(自宅で生活する者についても、経済的に家庭から自立している者は含む。) イ 家庭から多額の仕送り(年間100万円以上(授業料及び入学料を除く。))を受けていない。 ウ アルバイト収入について、以下の(イ)～(ロ)のいずれかの場合に該当している。 (イ) 新型コロナウイルス感染症の影響等で想定していたアルバイト収入が得られない状況が継続している。 (ロ) 前と比較してアルバイト収入が減少(20%以上)し、その状況が令和4年1月以降も改善していない。 (ハ) アルバイト収入が増加又は一定水準に達しているものの、家庭の経済状況が悪化したこと等の理由によりアルバイト収入を増やさざるを得ず、修学の継続が困難になっている。	<p>アパート等の賃貸契約書の写し、直近の家賃の支払いが確認できるもの、住民票の写し等</p> <p>前年度仕送り額(年額)： _____ 円 今年度仕送り額(年額)： _____ 円 (前年度は実績額、今年度は見込み額を記載)</p> <p>預貯金通帳等の写し等</p> <p>アルバイト先からの給与明細又は振込口座の預貯金通帳の写し(任意)等(令和4年1月以降の2か月分で、入学以降のアルバイト収入と比較して減少していることがわかるもの)</p> <p>他の公的支援措置を受けている場合の受給証明書等</p>	
	⑤ 地方公共団体等が行う貸与型奨学金の利用者	採用通知等の写し等	
	⑥ ひとり親世帯のうち、主たる生計維持者が新型コロナウイルス感染症の影響等により経済的に困窮状況にある者	世帯全員の住民票の写し及び給与明細(令和4年1月以降の2か月分が以前と比較して減少していることがわかるもの)等	
	⑦ 令和4年1月以降に主たる生計維持者が死亡した者	会葬状等	

(両面印刷 左上ホチキス留めにより提出)

4. 申し立て事項

3 (3)に該当する者のほか、経済的な困窮状況等について記載してください。

(注) この申請書に記載された情報は、「大学生等の学びの継続支援事業」の実施のために利用します。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報が国及び静岡県に提供されますが、その他の目的には利用されません。

提出先：学生課学生係

提出期限 令和4年10月20日（木） 17時

(両面印刷 左上ホチキス留めにより提出)